

取組内容

鶴岡は「絹の一貫生産工程（養蚕・製糸・製織・精練・染色・縫製）」が残る全国唯一の地で、絹産地の北限である。これらを生かし、蚕が最初に吐き出す糸「キビソ」を使ったストールなど新商品開発や、松ヶ岡開墾記念館での体験教室、小中学校での蚕飼育体験や市民の機織り体験ツアー、高校生による魅力発信活動「シルクガールズ・プロジェクト」支援などを行う。



<小学校での学習事業>



<高校生による工場見学>

評価のポイント

- ・伝統を活かした新たな産業づくりのモデルとして評価できる。
- ・希少な産業資源を現在も「生きた業」として存続させ、次世代教育等への活動も厚く、丁寧であり、未来成長分野の開拓型産業観光地である。
- ・富岡製糸場がかつて使用されていた機械が、今でも現役であることは希少価値がある。
- ・松ヶ岡開墾場は長い間、静かに保全され続けてきたが、富岡製糸場の世界遺産化などを契機に、長い眠りからさめたように、新たな事業を興してきた。その精神に敬意を表したい。
- ・対象資源としては興味深いのが、商品化、事業化について幅広い編集視点が必要。